山梨県立都留高等学校定時制評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標·経営方針 校訓「質実剛健・自学進取」のもと、誠実な心と健康な身体を持ち、学に励み克己に努める、心身ともにたくましく、しなやかな生徒を育成する。

山梨県立都留高等学校 校長 荻野 智夫

本年度の重点目標	1 知徳体の調和のとれた人間の育成に務める。	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)		評価・	4 良くできている。
	2 道徳意識・規範意識の向上に努め、豊かな心を育む。		B 概ね達成できた。(6割以上)			3 できている。
	3 言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力の育成に努める。		C 不十分である。(4割以上)			2 あまりできていない。
	4 体力の向上と健康・安全の保持増進に努める。		D 達成できなかった。(4割以下)			1 できていない。
<u> </u>			<u> </u>	_		<u> </u>

自 己 評 価						ſ	学校関係者評価		
		本年度の重点目標		年度末評価 (2月13日現在)			実施日(令和6年2月16日)		
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策		評価	意見·要望等
1	基本的生活習慣の確立と道徳意 識・規範意識の育成	学業と就労の両立を支援し、欠席、遅刻、早 退などをしないように指導する。 全校集会・全校行事での挨拶運動を徹底し、	統計一覧表及び学校 改善点検シートの活用 生徒評価シート及び改	傾向がある。彼らの昼間の生活については保護者と相談しながら、指導する必要性がある。 ・生徒数が9名と少なく、指導が行き届く、授業でも個別指導が可能で、いろいろな情報が得られる。職員間の情報共有も円滑に行えた。	А	・来年度は行事の質をより一層 向上させ、外部の方々との触れ 合いを大切にしていきたい。			月1回以上のペースで様々な行事を取り入れていることは、生徒たちの「学校に通いたい」という動機づけになり、良い取り組みだと思う。基本的な生活習慣の確立や道徳意識・規範意識の育成には焦らず時間をかけ、今後も生徒に寄り添った教
		日常生活でも行えるようにする。	善点検シートの活用						たり、いましたが、マスピエルによりない。 育・指導を続けてほしい。
		各種行事や講演会等において、豊かな心の 育成を意識した内容を含めて計画・実施す る。	生徒評価シート及び改善点検シートの活用	・年度後半、生徒会活動が劇的に活性 化され、教職員及び生徒が生き生きと それに取り組んだ。					
2	言語活動の充実とコミュニケーション能力の育成	授業改善に積極的に取り組み、「わかる授業」 を実践し、確かな学力を育成する。		・授業改善のために11月には管理職に よる「授業参観」を実施した。また、アン ケートから、「授業が分かりやすい」とい う項目の達成率が上昇した。 ・漢字検定、文章検定、英語検定に積		・次年度も少人数の授業形態で、中にはマンツーマンでの授業もあるが、授業改善にはひき続き取り組んでいく必要がある。 ・検定はこれからも有効に活用していきたい。 ・保健体育の授業や学校行事の時間等を通じて、健康の大切さや、適度な運動の精神面への好影響などを認識させていく。 ・薬物や防犯、災害に関する諸			定時制は、様々な状況を抱えている中で学んでいる生徒が多いが、少人数の中で丁寧な指導がなされていることが生徒たちの言語活動・コミュニケーション能力の育成につながっていると思う。
		奨励し、合格者増をめざす。	数	極的に取り組んだ。 ・新学習指導要領に基づく観点別評価 は本校に相応しいものであり、順調に 始められた。			4	4	
		LHRや特別活動を通じて、コミュニケーション 能力の育成と豊かな人間関係づくりを図る。	善点検シ―トの活用	・「総合的な探究」での発表は個性あふれるものであった。					
3	健康・安全教育を推進するとともに、スポーツに親しむ習慣・意欲を養い、体力の向上を図る	薬物、感染症、喫煙、防犯防災、食育、交通 安全等、重要課題についての講話・講習会を 充実させ、健康・安全について考えさせる。		を実施し、健康・安全に対する意識の 向上を図った。 ・総体には積極的に参加したものの怪					生徒の健康面や安全面で多くの取り組みをしている。定時制通信制の県総体にも積極的に参加しているようで、今後も期待したい。
		定通総体の各種目への積極的な参加を促 し、学校全体で運動やスポーツに親しむ雰囲 気を醸成する。			とが困難だった。 ・体育の授業は少人数であったが協力 E しあいながら競技に取り組んだ。 ・新型コロナが第5類に移行したが、引	В	演会の意義や必要性を再検討し、将来へ備えとなるようにしたい。 ・9月には遠足で沼津方面に行		3
		健康・体力づくり一校一実践運動により、体育活動や健康教育を充実させ、健康と体力の向上を図る。		き続き保健衛生の指導に力を入れ、毎日の検温や手指消毒を徹底させた。		き、普段とは違う体験ができた。 来年度も実施したい。			
4	キャリア教育・進路指導の充実	進学・就職希望者に対する進路指導の充実を 図り、卒業時の進路決定率を100%とする。	相談・ガイダンス件数 及び進路決定率	・少人数ならではのきめ細かな進路指導ができた。 ・進路講演会は、自らの進路の意識づけの機会となっっている。 ・1、2年次の早い段階からの組織的な進路指導が大切である。	į	・次年度も早い段階から進路を 意識させるようにして、全校体 制で取り組んでいく。		家庭の状況や本人の特性等で、定時制を選択する生徒を指導していただいている。全日制の生徒 以上に負担も大きいと思うが、生徒の進路実現の ためにも、個々の生徒に寄り添う指導を継続して	
		ハローワークや外部機関との連携を深め、計画的な進路指導を行う。	生徒評価シート及び改善点検シートの活用					3	ほしい。
		「働き方改革」に基づき、バランスのとれた働き方について考え、働くことの意義を再認識させる。							

rimate. In	/4/ 手上ロ挿し部体ボロにのいては	々当せの理事に無暗に甘べも	中柱に入れはて手上ル	ホーナフ

^{##8}点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。